

南信濃まちづくり通信

第51号 令和2年5月発行 2020年5月14日

発行：南信濃まちづくり委員会
編集：まちづくり委員会総務委員会
事務局：南信濃自治振興センター

本谷川で水力発電所計画 中電 2022年着工を計画 関係団体と対策委員会設置へ

中部電力株式会社（以下「中電」）は、4月15日に開かれたまちづくり委員会・地域振興委員会定例会で、2027年（令和9年）3月の運転開始を目指しているという遠山川水力発電所建設計画を説明し、その内容を初めて明らかにしました。

まちづくり委員会では説明終了後協議して、上村まちづくり委員会、遠山漁業協同組合、遠山郷観光協会及び飯田商工会議所遠山郷支部と協力して、対策委員会を設置することを確認しました。

この建設計画は、遠山川上流（本谷川）の北又渡発電所付近に取水えん堤を建設し、延長約6.3kmのトンネルの導水路でつなぎ、須沢地区と梨元地籍の中間付近に発電所を建設するというものです。

最大使用水量 10.0 m³/s、有効落差約 125m、最大出力 1万 600kW、年間想定発電量約 5,800 万 kWh（約 18,600 世帯分）の規模の計画とされています。2018年4月から地質・測量・環境の調査をスタートし、猛禽類生息調査など一部を除き調査を完了し、開発に適した場所であると中電社内でもとまり、具体的な協議をスタートするため地元への初めての説明となりました。（関連説明資料・記事2面）

また、これからのスケジュールは、地元・地権者・

◇遠山川水力発電所建設計画の概要◇

発電所名	遠山川水力発電所
発電/運用方式	水路式 / 流れ込み式
発電出力	10,600 KW
最大使用水量	10.0 m ³ /S
有効落差	約125 m
想定年間発電量	約5,800 万KWh (一般家庭 約18,600 世帯分の年間使用電力量に相当)
CO2削減量	年間27,000 トン程度
工事着手予定	2022年度
運転開始予定	2026年度

漁協などとの協議や、河川法・森林法などの許認可の手続き、並行して詳細設計を進め、2022年（令和4年）6月着工を目指していきたいとしている。

説明後の中電に対する質疑では、「9日の信毎の朝刊記事を見て心配していた。今回、初めて説明を受けたが、この計画は河川環境や住民生活に大きな影響がある。遠山川は、豊富な魚類の生息や水辺のレクリエーション、また素晴らしい自然景観を形成する大切な川である。釣りで来訪する方々からは、「遠山川上流域の最後の砦」とまで言われている。地域住民から理解が得られるような、しっかりとした丁寧な説明が必要だ。現時点では同意することはできない」との強い発言もありました。

近年、温暖化対策など地球規模の環境問題が大きく報道され、化石燃料を使わない再生自然エネルギーの活用必要性が叫ばれていますが、地域にとって非常に大切な資源、かけがえのない宝である遠山川への計画に対してどう対応していくのか、地域の皆さんと一緒に取り組む必要があります。

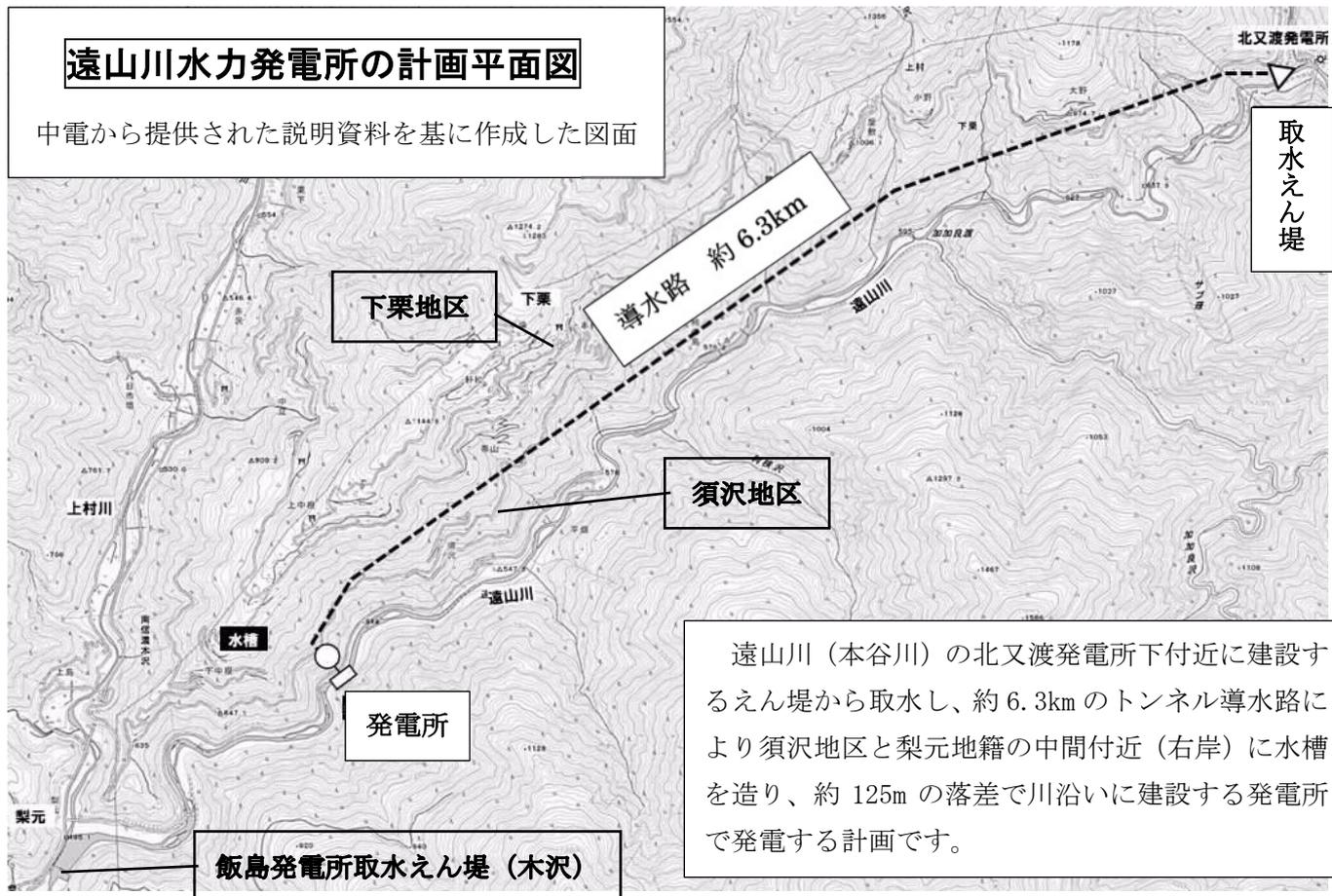
今後、中電による地域住民への説明会が計画されるものと思います。まちづくり委員会などの取組にご理解・ご協力をお願いいたします。



この上流本谷川で中電による水力発電所建設計画が進められている。飯島発電所（木沢）取水えん堤付近（四月二十四日撮影）

遠山川水力発電所の計画平面図

中電から提供された説明資料を基に作成した図面



遠山川（本谷川）の北又渡発電所下付近に建設するえん堤から取水し、約6.3kmのトンネル導水路により須沢地区と梨元地籍の中間付近（右岸）に水槽を造り、約125mの落差で川沿いに建設する発電所で発電する計画です。

□ 水力発電所建設計画対策委員名簿（一部） □

氏名	所属団体等
宇佐美 秀臣	遠山漁業協同組合組合長
山崎 幸人	遠山漁業協同組合副組合長・和田水路組合代表
中島 正春	遠山漁業協同組合放流部長
遠山 龍夫	遠山漁業協同組合漁場管理部長
西森 六三	遠山漁業協同組合代表監事
牧島 定好	まちづくり委員会会長
前澤 憲道	まちづくり委員会副会長
池端 清二	まちづくり委員会産業建設委員長・和田橋北区長
酒井 郁雄	まちづくり委員会総務委員長・和田橋南区長
松下 勇	まちづくり委員会木沢区長
木下 重人	まちづくり委員会木沢副区長
伊崎 将夫	まちづくり委員会八重河内区長
遠山 道人	まちづくり委員会南和田区長
玉置 洋一	前まちづくり委員会会長

現在、上村まちづくり委員会、遠山郷観光協会及び商工会議所遠山郷支部内で現在調整・選出いただいています委員をこの名簿に加えて、対策委員会を組織します。

この委員会が中電との交渉の地元窓口となります。

水力発電所の計画区間にある地域資源の1つが、旧遠山森林鉄道の軌道敷や多くの遺構です。いまを生きるわたしたちだけでなく、将来にわたる大切な宝として大切にしなければなりません。



計画区間途中に今も残されている旧遠山森林鉄道の遺構「ながとろ橋」（須沢地区上流）（撮影：2019年6月22日）

遠山郷 地域おこし協力隊通信

ゲストハウス“太陽堂”たより



こんにちは。水戸です。太陽堂はただいま休業中です。太陽堂オープン後初のゴールデンウィーク。こんなに静かなものになるとは想像もしていませんでした。今はただ、また地域内外の人々が集える日が戻ってくるのを信じて、ステイホームする限りです。



さて、4月の桜の季節。例年通り遠山川沿いに綺麗にソメイヨシノが咲き誇ったある日。この様子を何とか遠山郷に来られない人達にも楽しんでもらえないかと思い、動画で生中継してみました。突然の思い付きでしたが総勢20名ぐらいに視聴してもらえ、ネット上ではありますが、みんなでお花見をしたような気分を味わえました。

「遠山郷のきれいな景色をネットで見られてうれしいです」「東京から見てます」などコメントもいただきました。

こんな状況でなければ、やってみようと思わなかった試みですが、とてもいい経験になりました。

←こちらの写真はネット配信の様子。動画上に皆さんのコメントが表示される仕組みです

<遠山郷アマビエプロジェクト>

みなさん、『アマビエ』をご存じですか？架空の生き物で、もとは江戸時代に疫病がはやった時にアマビエの絵をかいて広めよ、との言葉とともに広まったものらしいです。最近の状況下で今また日本中でひそかにはやっているようで、厚生労働省もキャラクターとして採用しています。遠山郷では、おなじみの画伯がカラフルでかわいいアマビエをかいてくれました。見ているだけで明るい気分になるアマビエだったので、印刷していろいろなところに配っています。欲しい方は、太陽堂でお配りしていますので、お声掛けください。

また、遠山郷境界のお得な情報を配信するラインアカウントも開設しました。たとえば、“ホームページにこんな情報を更新したよ！”“×日にパン屋さんが販売に来るよ！”“遠山郷がテレビに登場するよ！”といった内容が配信されます。よろしければお友達登録よろしくお願ひします。今なら、お友達登録いただいた方に遠山郷アマビエステッカーをプレゼントしています。こちらも太陽堂でお渡ししますので、お声掛けください。

▼遠山郷アマビエポスター



▼遠山郷アマビエステッカー



『“ここに暮らす”遠山家族』の実現に向けた まちづくり委員会の事業計画 住み良い地域づくりを目指し進めます！

【主な事業】

令和2年度の南信濃まちづくり委員会の主な事業を5つの項目に区分・整理し掲載します。

1 高齢者が安心して暮らせる地域づくり

- (1) 交通弱者の足の確保(移送サービス)事業 (地域福祉プロジェクト)
- (2) 敬老祝賀行事や介護者ふれあい相談事業(健康福祉委員会)
- (3) 若者等定住促進事業補助金、通院費補助、健康づくり講座、健康まつり開催(健康福祉委員会)
- (4) 高齢者福祉学級の実施 (公民館)

重点課題として、乗合タクシー等を使った高齢者などの交通弱者の足の確保の検討を進め、通院や買い物など日常生活支援システムの早期実現を目指します。



中学生と地域住民が一緒に地域の将来像や夢を語り合う遠山未来フォーラム

2 子育て世代・若年層が暮らしやすい地域づくり

- (1) 若者等定住促進事業 (地域振興委員会)
- (2) 子ども見守り事業<自磨の時間>やコミュニティスクール支援事業 (公民館)
- (3) 乳幼児すこやか学級・家庭学習支援事業 (公民館)
- (4) 遠山未来フォーラムの実施 (公民館)
- (5) 親子映画の夕べ・環境学習(ブッポウソウ保護)等の開催 (公民館、環境保全委員会)
- (6) 関係人口拡充事業 (公民館)

児童、生徒の数が激減し、学校の存続が心配される状況となっています。若い世代が暮らしやすい環境づくりや子育て世代への支援に努めます。

(本年4月1日現在の児童+生徒総数 65名)

3 三遠南信道開通を見据えた地域づくり

- (1) 遠山郷花街道整備事業 (同プロジェクト連絡協議会との連携、産業建設委員会)
- (2) 国道等整備促進要望活動 (産業建設委員会)

三遠南信自動車道(仮称)青崩トンネルの本坑が昨年春に着工し、近い将来の開通が見込まれます。開通後の地域振興を見据え、魅力ある地域環境の整備に取り組みます。



三遠南信道(仮称)青崩トンネル工事現場II
着工時の撮影(令和元年5月)

4 かぐらの湯の事業再生への支援

- (1) かぐらの湯検証事業
- (2) かぐらの湯応援団の取組支援

多くの集客を見込める観光拠点施設として、かぐらの湯が天然温泉によって完全な形で営業再開ができるよう、地域一体となって取り組みます。



連休中というのに来客もなく観光客の流入が完全にストップして閑散としているかぐらの湯=5月2日撮影

(前頁からの続き)

5 その他

- (1) タイムカプセル開封と保存資料の配布 (総務委員会)
- (2) 情報発信・広報事業 (まちづくり通信の発行) (総務委員会)
- (3) 交通安全運動の推進 (生活安全委員会)
- (4) 保育園・小学校交通安全教室 (生活安全委員会)
- (5) 防犯灯の新設・維持管理 (生活安全委員会)
- (6) リサイクルステーション管理運営事業 (環境保全委員会)
- (7) 環境美化運動の推進 (環境保全委員会)
- (8) 遠山川水力発電所建設計画への対応 (対策委員会との連携)
- (9) 防災訓練実施等による防災意識の普及啓発事業 (自主防災会)

1990年(平成2年)に埋設したタイムカプセル(旧南信濃村発足30周年記念事業)を開封し、当時のわたしたちの暮らし、自分自身の足跡を振り返り、次の時代へ再出発する年とします。

また、遠山川水力発電所建設計画については、遠山谷の自然や景観、住民生活に関わる大きな問題であり、地域の皆様への情報発信に努めながら、後悔しない方向性が見い出せるよう対応していきます。



チーム・モッセ設置のこいのぼり。青い空を泳ぐ姿は地域に元気を届けてくれます

◇おことわり◇

新型コロナウイルスの感染症がまん延するなか、毎年4月に開催していましたまちづくり委員会の定期総会が中止せざるを得ない状況となり、規約の規定に基づき、各種議案は地域振興委員会の承認により総会決議とさせていただきますことになりました。ご了承ください。

地区の話題(その12)

高平の稲荷様

高平稲荷の会世話人代表 近藤 泰明

和田地区には、出山(新町)と高平(本町)の2カ所に稲荷様が祀られている。出山稲荷様は町全体で京都の伏見神社から迎えてきたもので、新町地区の3つの自治会で祭事を執り行っているが、高平稲荷様は講員が集まり祀ってきた。

高平の稲荷様は、明治初年、豊川稲荷から商売人仲間で迎えてきて、大正年間の大火で焼けるまで中本町の西川屋さんに置いていたが、その後下本町から高台に登った場所に移し現在に至っている。

商売繁盛や交通安全などを祈願する信仰と娯楽の仲間組織として講を形成し、甘酒の振る舞いを子どもたちにも受けられるようにと、講に入る人が増えてきた歴史がある。しかしながら、高齢化の進展や子どもの数が少なくなったことなどにより、現在は

本町地区で引き継がれている小さな行事「高平稲荷様のお祭」を紹介します。

講組織も薄れてきて、有志が祭事を維持している。

今年の祭事は、足腰の弱い方にも参加できるようにと、3月15日、西川屋さんに本尊を迎えて祭事を行った。龍淵寺の盛住職さんによるご祈祷、甘酒の振る舞い、お神酒を継ぎ合っただけの懇談など、20数名の小さなお祭りですが、地域住民のコミュニティの場として、できる限り継続したいものです。

(参考:南信濃村史 遠山)



新型コロナウイルス感染拡大の影響で近所の皆さんだけの小さな催しとなりました

かぐらの湯応援団 参画団体一覧 (5月1日現在)

かぐらの湯の完全な形での再開を目指す組織として立ち上げた応援団には、現在、地区内 44 団体の賛同をいただき参画していただきました。新型コロナウイルスの感染防止対策のため、残念ながら一堂に集まって意見交換する機会を設けることができない現状ですので、ご了承願います。このほかにも協力していただける団体がありましたらご連絡ください。ご理解とご協力をよろしく願います。(団体名一覧表：五十音順掲載)

No.	団体名等	代表者氏名
1	飯田市日赤奉仕団南信濃分団	山崎みどり
2	飯田商工会議所遠山郷支部	山崎 語
3	飯田商工会議所遠山郷支部女性会	中井真佐子
4	飯田市連合猟友会南信濃支部	山崎 君登
5	飯田信用金庫南信濃支店	池田 快聡
6	一会の会	中井真佐子
7	かぐら姫バンド	草田 喜春
8	かたくり	大屋敷 藤
9	木沢霜月祭野郎会	木下 隆彦
10	木沢地区活性化推進協議会	前澤 憲道
11	ゲストハウス太陽堂	水戸 幸恵
12	team.Mosse (チーム・モッセ)	山崎 仁美
13	天満ふれあい協議会	鎌倉 詔
14	遠山キッズ太鼓 爛花	吉野あづ美
15	遠山郷観光協会	近藤 力夫
16	遠山郷まちけん	鈴木 理
17	遠山郷南信濃やどやの会	岩瀬 憲司
18	遠山郷やらまい会	山崎 語
19	遠山太鼓連	山崎 語
20	遠山ふじ系伝承の会	大屋敷つし子
21	遠山山の会	小澤 欣三
22	特別養護老人ホーム 遠山荘	山崎 元宏

No.	団体名等	代表者氏名
23	花桃の会	遠山ケサ子
24	北部活性化協議会	小澤 欣三
25	ボンシャンス遠山郷サイクリングクラブ	森本 一人
26	南信濃お茶生産組合「茶の実会」	山崎 幸人
27	南信濃公民館	西森 六三
28	南信濃公民館木沢分館	深尾 仁
29	南信濃公民館和田橋南分館	木下 章次
30	南信濃公民館和田橋北分館	近藤 知典
31	南信濃公民館南和田分館	山崎 文昭
32	南信濃公民館八重河内分館	鎌倉 茂光
33	南信濃高齢者クラブ	鎌倉 直衛
34	南信濃地区農業振興会議	大平 政廣
35	南信濃まちづくり委員会	牧島 定好
36	南信濃まちづくり委員会木沢区	松下 勇
37	南信濃まちづくり委員会和田橋南区	酒井 郁雄
38	南信濃まちづくり委員会和田橋北区	池端 清二
39	南信濃まちづくり委員会南和田区	遠山 道人
40	南信濃まちづくり委員会八重河内区	伊崎 将夫
41	みなみ信州農業協同組合南信濃支所	村澤 伸男
42	山暮らしカンパニー	木股 弦登
43	夢をつなごう遠山森林鉄道の会	前澤 憲道
44	和田宿にぎやかし隊	山崎 久孝

◇自治振興センター関係職員の動向(令和2年4月1日現在)

【転入】 *氏名の後の()内は前職場、《 》内は現住所等。

▽遠山郷振興担当専門幹(課長級) 山口英孝(上郷自治振興センター)《羽場町・十原出身》▽まちづくり委員会事務局庶務 近藤寿二(農業課)《上島》▽保健師 久保田薫(伊賀良自治振興センター)《座光寺》

【転出】▽飯田市社会福祉協議会事務局 村澤勝弘▽3月31日付退職 吉野あづ美

生活環境はみんな
で守りましょう

(環境保全委員会)

♡犬の散歩中のフンの処理は飼い主の責任で処理しましょう♡

♡エチケット袋などを携帯し必ず自宅に持ち帰って処理しましょう♡